

会報 看護とうきょう

2026. September
Vol.143



独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）東京山手メディカルセンター

Nursing in TOKYO

令和８年度 通常総会報告

保 助 看 現場を支えるチカラ

公益社団法人
東京都看護協会
TOKYO NURSING ASSOCIATION

ごあいさつ



公益社団法人東京都看護協会
会長　柳橋　礼子

会員の皆様には日頃より東京都看護協会の活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。6月18日、令和8年度東京都看護協会通常総会を開催し、すべての議案が承認可決されました。総会後の理事会にて会長に選任され、三期目を務めることになりました。新任の理事3名、監事1名も選任され、新体制で事業を精力的に実施してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度、厚生労働省では「2040年に向けた看護職員の養成・確保の在り方に関する検討会」が開催されております。2040年に向けた医療需要を踏まえた地域医療構想の検討が進められるなか、人口減少・高齢化に伴う医療ニーズの質・量の変化と地域医療サービスの担い手である看護職員の量的な確保の見通しに加えて、看護職員の資質向上と養成・確保策が検討されております。今後の看護職員に求められる資質について、今一度将来を見据えて明確化が図られることになります。この動きを注視しつつ、看護職の資質向上に寄与する今後の事業展開を皆様と考えてまいりたいと思います。

このような重要な変革に直面する時期に、東京都看護協会はじめ全国の看護協会の会員数は減少を続けており、看護職能団体としてはもちろんのこと、保健医療福祉サービスの一番の支え手である看護職の中心にある看護協会の存在感はゆらぎつつあります。都内で働くすべての看護職のご理解とご協力が得られますよう、会員の皆様とともに尽力してまいりたいと存じます。

今年度も会員の皆様のニーズを最優先とする事業を進めてまいります。

今後とも一層のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

つながる・参加する 、その一歩を！

地域を支える仲間とつながる交流会

2027年 2月20日 土 14:00-16:30

地域包括支援センター保健師・看護師交流会
「あつまれ　地域包括の輪」

地域包括支援センターで働く保健師・看護師同士がつながり、日ごろの悩みや実践を共有する交流会です。
話題提供とグループワークを通して、地域で高齢者を支えていくために包括の看護職ができることを一緒に考えてみませんか。

話題提供
「包括と病院との連携において
包括の看護職にできること」
講師　岸恵美子氏／
東京医療保健大学　副学長

グループワークで情報交換　他

参加費　会員　3,630円
一般　7,260円

詳細・申込はこちら

https://www.tna.or.jp/nurse/committee/activity/phn/

会員モニター募集

**令和9年1月開催のイベント「東京都看護学会」に
モニターとして参加していただける方を募集しています。
あなたの声を、
これからの協会づくりにぜひお寄せください。**

募集イベント
2027年1月16日（土）9:30-16:30
第60回東京都看護学会

イベント後の座談会で本音トーク

会員モニター特典
急変時の対応［リーダー編］
ITスキルアップ講座
現場で活かせる感染管理の基礎知識　他
研修1つを無料で受講

**会員モニターの
詳細・応募はこちら**

https://www.tna.or.jp/nurse/committee/monitor/

令和８年度 通常総会報告

開催日：令和８年６月18日（木）
開催時間：午後１時～午後３時10分
開催場所：公益社団法人東京都看護協会会館

令和８年度通常総会において、下記のとおり報告及び決議されましたので、ご通知申し上げます。



報告事項

（1）令和７年度事業報告について
（2）令和７年度決算報告及び監査報告について
（3）令和８年度事業運営方針及び事業計画について
（4）令和８年度収支予算について
（5）令和９年度公益社団法人東京都看護協会代議員及び予備代議員について

上記内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案　理事9名選任について
本議案は、出席代議員による選挙を実施した結果、原案のとおり承認可決され、理事として、柳橋礼子、砥石和子、横山孝子、赤塚敦子、松浦美紀、轟木翼、植山誠一、但木祥子、嵯峨幸恵の9氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第2号議案　監事1名選任について
本議案は、出席代議員による選挙を実施した結果、原案のとおり承認可決され、監事として、吉村美樹氏が選任され、就任いたしました。

第3号議案　令和8年度推薦委員9名選任について
本議案は、出席代議員による選挙を実施した結果、原案のとおり承認可決され、推薦委員として、片岡幸子、原綾子、鈴木直美、大島久美、堀江亜紀子、北川亜希子、佐々木瑠那、伊東恵美子、井手厚平の9氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第4号議案　令和8年度選挙管理委員12名選任について
本議案は、原案のとおり承認可決されました。

第5号議案　令和9年度公益社団法人日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について
本議案は、原案のとおり承認可決されました。



会長	柳橋礼子（やなぎばしれいこ）	3期	公益社団法人東京都看護協会
副会長	早田紀子（はやたのりこ）	2期	東京都西多摩保健所
副会長	砥石和子（といしかずこ）	3期	個人
副会長	佐藤浩子（さとうひろこ）	1期	社会福祉法人敬仁会東京本部
専務理事	野月千春（のづきちはる）	2期	公益社団法人東京都看護協会
常務理事	横山孝子（よこやまこうこ）	3期	公益社団法人東京都看護協会
財政担当理事	赤塚敦子（あかつかあつこ）	2期	株式会社ＪＲ東日本パーソネルサービス HR事業本部ソリューション事業部
保健師職能理事	松浦美紀（まつうらみき）	新任	新宿区東新宿保健センター
助産師職能理事	小檜山敦子（こびやまあつこ）	3期	文京学院大学保健医療技術学部 看護学科 文京学院大学大学院看護学研究科
看護師職能理事	郷由里子（ごうゆりこ）	2期	地方独立行政法人東京都立病院機構 法人本部
准看護師理事	轟木翼（とどろきつばさ）	3期	IMSグループ医療法人財団明理会 イムス明理会東京町田病院

東部地区理事	植山誠一（うえやませいいち）	2期	医療法人財団謙仁会亀有病院
西部地区理事	秋山陽子（あきやまようこ）	1期	杏林大学医学部付属杉並病院
南部地区理事	中川美和（なかがわみわ）	2期	国家公務員共済組合連合会 東京共済病院
中部地区理事	但木祥子（ただきさちこ）	新任	公益財団法人佐々木研究所附属 杏雲堂病院
多摩北地区理事	薬袋知子（みないともこ）	1期	公立阿伎留医療センター
多摩南地区理事	嵯峨幸恵（さがさちえ）	新任	町田市民病院
監事（会員）	吉村美樹（よしむらみき）	新任	日本赤十字社東京都支部 大森赤十字病院
監事（賛助会員）	山内豊明（やまうちとよあき）	2期	放送大学大学院文化科学研究科
監事（会員外）	笠田朋宏（かさだともひろ）	2期	笠田公認会計士事務所 笠田朋宏税理士事務所

令和８年度通常総会の決議ご通知を公式ウェブサイトに掲載しております。以下をご参照ください。
https://www.tna.or.jp/kyokai/organization/general/about2026r8/

地区支部だより

東部地区支部

地域包括ケアを支える多職種連携の実践

タムスさくら病院江戸川　看護部長　石井素子

江戸川区にあるタムスグループ3病院（タムスさくら病院江戸川、タムス瑞江病院、タムス松江病院）は、5月13日に「江戸川地区 第2回地域連携の会」を開催しました。本会は、地域包括ケアシステムの推進に向け、江戸川区内の病院・施設・在宅分野などの多職種が一堂に会し、地域医療の課題や今後の方向性を共有することを目的とした取り組みです。

第1部では、東京臨海病院副院長の神田大先生より、江戸川区における地域医療連携の現状についてご講演いただきました。続く第2部の懇親会には242名が参加し、顔の見える関係づくりを通して活発な意見交換が行われ、日常的な連携強化につながる貴重な機会となりました。

地域連携を担う看護職にとっても、地域課題への理解を深める学びの場となりました。今後も本会で得られたつながりを活かし、切れ目のない医療・介護提供体制の構築に貢献してまいります。



地域医療・介護を担う関係者が交流を深め、今後の連携強化への期待が高まる懇親会

妊娠期から産後まで切れ目のない支援を目指して

荻窪病院　産科病棟師長　高屋敷美幸（広報）

当院は産科外来と病棟を一元化し、妊婦健診から産後まで切れ目のない看護ケアを提供しています。サポートが必要な妊産婦に対しては、行政の保健師との面談への同席や、児童相談所との情報共有を行うなど関係機関と連携しながら支援しています。

また、助産師外来を新設し、小児科の2か月検診に助産師が同席するなど、母親が気軽に相談できる機会を増やしています。

産後ケアの需要増加に対応するため、今年度6月からは利用対象を「生後3か月まで」に拡大しました。沐浴・授乳指導、乳房ケアなど一人ひとりの状況に応じた丁寧な支援を行っています。対象拡大に伴い、乳児の発育や安全管理についてスタッフ全員で学び直しを行い、ケアの質の確保に努めています。

近年は、外国人の妊産婦も増加傾向にあります。言語や文化の違いに加え、身近に支援者がいないケースも少なくありません。こうした妊産婦の孤立を防ぐためにも、行政との連携をさらに強化し、安心して出産・子育てができる環境づくりに取り組んでまいります。

西部地区支部



LDR室



ある日の夕食（産後食）

南部地区支部





「ACPの情報をどうつなぐか」をテーマに活発な意見交換を行う参加者

「在宅と病院の看護連携」〜目黒区の取り組み その2〜

総合病院厚生中央病院　看護部長　西川英子

前号でご紹介した「目黒看看ネット」のその後の活動をご報告します。

令和8年5月15日に第3回交流会を開催しました。目黒区内の5つの病院から退院支援部門や病棟主任などが参加し、訪問看護ステーションの管理者などと合わせて50名を超える参加がありました。

テーマは「ACPの情報をどうつなぐか」のホットなテーマのもとグループワークを実施。患者さんの思いを汲み取るためのタイミングやツールの工夫について話し合い、取得した情報を現在どのような方法で共有しているのかを紹介するなど、多くの意見が飛び交い、あっという間の1時間となりました。

今回の交流を通して、お互いの役割や活動を知ることができ、改めて「顔の見える連携」の重要性を実感しました。この交流が現場での実践に活かされることを願いながら、今後も継続的に交流会を開催してまいります。

中部 地区支部



但木祥子支部長

つながりが育む看護の力

杏雲堂病院　看護部長　但木祥子(支部長)

このたび、中部地区支部長を拝命いたしました但木祥子です。どうぞよろしくお願いいたします。会員の皆様には、日頃より中部地区支部の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。前支部長が築いてこられた温かなつながりと地区支部活動を引き継ぐこととなり、身の引き締まる思いです。

私は地区支部活動に参加して7年目となりました。活動を通して多くの皆様と出会い、語り合いながら学びを深めてまいりました。顔の見える関係が築かれたことで、施設や職域を越えて相談し合えるつながりが生まれ、それが看護の力をより豊かなものにしていると感じています。

今後も中部地区支部が地域の看護職にとって学びと交流の場となり、皆様にとって温かな支えとなるよう役員・委員とともに努めてまいります。引き続き、ご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

各地区支部の活動報告詳細は協会Webサイトで
https://www.tna.or.jp/kyokai/branch/

多摩北 地区支部

地域とつながり、看護の力を育む多摩北地区支部

公立阿伎留医療センター　看護部長　薬袋知子(支部長)

多摩北地区支部は、地域包括ケアシステムの推進に向けた活動を展開しています。看護職の資質向上を目指し、摂食嚥下、災害看護、ACPなど、医療・福祉の動向や会員ニーズに応じた研修を企画しています。講師には、地域で活躍する認定看護師などを招くなど、身近なリソースナースを最大限に活用しながら、「顔の見える関係づくり」を大切にした対面形式の学びの場を提供しています。

また、「看護協会 まちの保健室」では、血圧、体脂肪などの測定や相談会を定期的に開催し、地域住民の健康意識向上と相談体制の基盤づくりに注力しています。参加者からは「継続的な活動が、自身の健康を見直すきっかけになっている」との声も寄せられています。

今後も多職種との連携や在宅療養を支える看護力の強化を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる包括的なケア体制の構築に貢献してまいります。

令和8年度多摩北地区支部研修のお知らせ

令和8年11月7日(土) 14:00〜16:00	医療安全 —医療安全の基礎—	
令和8年12月5日(土) 14:00〜16:00	集中ケア —急変を見逃さない—	
令和9年2月6日(土) 14:00〜16:00	ACP —ACPの基礎知識、病院から在宅まで—	

多摩南 地区支部

チーム医療の要として挑む、ロボット支援下手術
〜年間200例を支える緻密な多職種連携〜

日本医科大学多摩永山病院　看護部長　小見山かおり



手術支援ロボット

当院では令和5年の導入以来、ロボット支援下手術「ダヴィンチXi」による低侵襲手術（肺・食道・胃・肝・前立腺）を積極的に行っています。地域のニーズに応え、令和7年度には年間200例を超える実績を重ねてきました。この急進的な症例数の増加を支えているのは、各診療科の医師、臨床工学技士、そして私たち看護師による緻密なチーム力です。

私たち看護師は、チーム医療の要として、安全な術中管理はもちろん、低侵襲手術のメリットを最大限に活かす術後管理を担っています。在院日数が短縮されるなかで大切にしているのは、限られた時間で提供する「高度で手厚い看護」です。

術前の不安への介入はもちろん、術後の苦痛をアセスメントによって予測し、患者さんがナースコールを押す前に対応する「先回りのケア」を徹底しています。早期離床を促進し、1日も早い社会復帰を目指して、真心を込めたサポートを行っています。

今後も地域医療を支える一員として、安全で質の高い周術期看護の提供に努めてまいります

看護師職能委員会Ⅰ

現場の「声」を力に変えて、看護の未来を切り拓く


看護師職能委員会の皆さん

私たち看護師職能委員会Ⅰは、病院領域で働く看護職の声に耳を傾け、現場の課題解決や処遇改善に向けて取り組んでいます。昨年は、認定看護管理者教育課程の受講者約300名を対象に、「病院看護職が抱えている課題」について調査し、「倫理的課題への気付き・対応力」や「中堅・指導者育成の難しさ」など、想像以上に多くの課題を抱えていることが浮き彫りになりました。

こうした現場の声に応える形で、私たちは、調査・研究・学会発表を通じて現場のリアルな課題を広く発信するなど、制度の見直しや予算確保につながるように現場をバックアップしていくことが委員会の使命と考えています。

また、この委員会活動は、委員自身にも大きな変革をもたらしています。「看護師長になると、他者からアドバイスをもらえる機会は滅多にないため、経験豊かな仲間と意見交換できるのは本当にありがたい」「他施設の取り組みを、直接会って気軽に聞けるネットワークがあるのは心強い」など、委員会を通じて確実に視座を高め、新たな気付きを得ています。看護師職能委員会Ⅰには、現場の声を力に変え、看護の未来を本気で変えたいと願う仲間がそろっています。

保　助　看

現場を支えるチカラ
職能委員会の取組とこれから

https://kaiin-tokuten.tna.or.jp/hojyokan202609/

フルバージョンはこちら！

東京都看護協会 副会長（助産師）
砥石和子（といしかずこ）さん

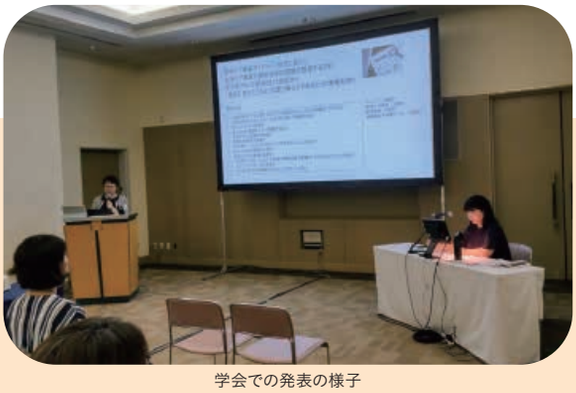
産後ケアの可能性を切り拓き、現場の声に応える

私たちは助産師の専門性向上のため、産後ケアの実態調査や研修、学会発表に注力してきました。多様な現場と意見交換を重ねるなかで、産後ケアの必要性は時代の潮流とともに確実に高まっていると確信しています。

現場からの「こうしてほしい」という要望は、遠慮なく私たちに届けてください。すべてを即座に形にするのは難しくても、着実に計画へ落とし込んでいきます。現場をよくするためのリソースとして、ぜひ私たちをうまく活用してください。


助産師職能委員会の皆さん
前列左から2番目が小檜山敦子さん、3番目が砥石和子さん

助産師職能委員会


学会での発表の様子

助産師職能委員会 委員長
小檜山敦子（こびやまあつこ）さん

オンライン交流会「コネミドTOKYO」の定期開催が生む、助産師同士のつながり

助産師職能委員会では、毎月第3木曜日にオンライン交流会を定期開催しています。産科は1施設にコミュニティが閉じがちで、他施設のリアルな情報が見えにくいという課題があります。だからこそ、誰もが気軽に飛び込める場をつくりたいと考えました。ここで定期的に顔を合わせることで、組織の壁を越えたつながりが生まれます。悩みが共有でき、お互いに高め合える環境は大きな支えになるはずです。私たちは常に、現場で奮闘する皆さんの最も身近な存在であり続けたいと願っています。

コネミドTOKYO リーフレットはこちら

コネミドTOKYO 申込フォーム



ナースプラザのご紹介

～看護にかかわる皆さんの“歩み”を支えています～



ナースバンク　無料職業紹介事業

eナースセンターを活用したお仕事探しのほか、東京と立川の2か所で経験豊かな看護職の相談員が就職相談や資格取得相談を行います。相談は来所、オンライン、電話、メールとお好きな方法から選べます。求人施設と求職者のコミュニケーションイベント「ふれあいナースバンク就職相談会」を開催し、再就職のきっかけづくりにも貢献しています。都内10か所のハローワークでも出張相談を実施しています。ぜひご利用ください！


就職相談会

研修　再就業支援と定着の促進

離職中の看護職の再就業支援に加え、都内中小規模の医療機関、訪問看護ステーション、高齢者・福祉施設などに勤務する看護職・看護補助者の資質向上と定着を目的に開催しています。研修を多くの方に受講いただき、ともに働く仲間を増やしていきたいと考えています。


技術研修

看護のお仕事応援フェア　イベント開催による看護職への支援

現役の看護職の方や、再就業を検討している方を応援するイベントです。施設の担当者との相談や看護技術の体験などを通じて、次の一歩につながる機会をご提供します。ぜひ足を運んでみてください。

2026年10月24日開催


実技体験会

復職支援研修　看護職の再就業支援

看護職向け研修に参加し、職場復帰の目標に向かって一歩踏み出そう。病院、クリニック、訪問看護ステーション、高齢者施設などで開催中。指導は手厚いマンツーマン体制、研修中は保険加入で安心です。（保険料自己負担ゼロ）

プラチナナース支援　「定年後も自分らしく働き続けたい」を応援！

これからの働き方やライフプランについて考えるためのきっかけとしてプラチナナースセミナーを開催しています。また、高齢者施設や訪問看護ステーションなどで現場の雰囲気を体験できる職場体験会を開催しています。

アウトリーチ型支援　看護職員の定着支援

200床未満の病院を対象に、ナースプラザ職員が毎月訪問し、看護管理者の皆さんと一緒に、看護職員が働きやすい職場づくりについて考えます。必要に応じて認定看護師からの支援を受けたり、地域の病院同士のつながりを活かしながら、“看護って楽しい！”と思える職場づくりを応援します。

一日看護体験学習　「看護の魅力」普及啓発

中高生や社会人を対象に年2回実施しています。実際の現場で看護体験や看護職との懇談を通して、看護の魅力を伝えています。看護への道を歩む、未来のナースの卵たちを応援していきます。

次の一歩へ　看護をつなぐ
東京都ナースプラザ
Tokyo Metropolitan Nurse Plaza

令和8年　春の叙勲

受章おめでとうございます

敬称略

瑞宝双光章	井澤（いざわ）　由香（ゆか）	現東京都立大久保病院看護部長
瑞宝双光章	上野（うえの）　真弓（まゆみ）	現東京都立墨東病院看護部長
瑞宝双光章	近藤（こんどう）　才子（さいこ）	元国立病院機構東京医療センター看護部長
瑞宝単光章	梅津（うめづ）　珠子（しゅこ）	元国立療養所多磨全生園看護部長
瑞宝単光章	岡地（おかぢ）　千佳（ちか）	元国立病院機構東京病院看護部長

注目の研修

急変対応力を高める実践研修シリーズ

血液ガス分析から急変時対応、リーダーシップまで。
患者の変化を見抜き、適切な行動につなげる力を身につけましょう。

NEW **現場で使える！** オンライン
血液ガス分析―急変対応につながる考え方―
R8.11/16(月)13:30～16:00　申込期間 R8.8/1～11/6

急変時の対応［メンバー編］
―はじめての急変に対応するために―
R8.12/15(火)10:00～16:00　申込期間 R8.9/1～12/5

急変時の対応［リーダー編］
―はじめてリーダーをする人のために―
R9.1/26(火)10:00～16:00　申込期間 R8.10/1～R9.1/16

NEW **後輩の憧れになる急変対応**
―「動ける先輩」は現場で何を考えているのか?―
R9.2/19(金)9:30～12:30　申込期間 R8.11/1～R9.2/9

公益社団法人東京都看護協会
第60回 東京都看護学会

令和9年 1月16日［土］ 9:30～16:30

「看る」ということ～ひととシステムが創る未来～

開催場所　**東京都看護協会** 新宿区西新宿4-2-19
参加申込　令和8年7月1日(水)～12月25日(金)
参加資格　看護職及び看護学生
（看護学生：保健師・助産師・看護師および准看護師の免許を未取得の看護学生）
学術推進委員会が承認した医療従事者
事前登録　会員3,500円/非会員7, 000円/看護学生無料
当日登録　会員5,000円/非会員10,000円/看護学生無料

お問い合せ［学会事務局］
https://www.tna.or.jp/
e-mail：gakkai@tna.or.jp
TEL：03-6300-5584

あなたの職場の魅力で「看護とうきょう」の表紙を飾りませんか

テーマ　「**看護部門の魅力が伝わるもの**」
チームの一体感、看護ケアの場面、地域との連携、設備・環境、研修風景など

詳細募集規定、応募先、応募方法につきましては右記URLよりご確認ください。
皆さまの施設における看護の魅力や特色を広く伝える機会として、ぜひご応募ください。

https://www.tna.or.jp/nurse/enrollment/newsletter/cover/

表紙紹介

Excellence in Nursing

―AIで記録を変える、看護が変わる―

JCHO東京山手メディカルセンター





JCHO東京山手メディカルセンターは、看護記録生成AIを活用し、人の温かさとテクノロジーの調和のもとに、一人ひとりに寄り添う看護の実践を目指しています。
野村仁美副院長・看護部長

会員特典のご案内　＼会員特典を活用していますか／

会員数　35,990人
2026年8月1日現在

まるごと一冊 特典BOOK

会報 看護とうきょう 別冊

お得な情報満載!!



会員特典サイト
https://www.tna.or.jp/nurse/enrollment/benefits/about/

メディカルオンライン

看護研究・学習に役立つ メディカルオンライン
医学・看護分野の文献検索や閲覧に活用できる会員向けサービスです。
研修準備や看護研究、日々の実践に役立ちます。
利用には事前登録が必要です。
東京都看護協会 メディアセンター(4F)へご来館のうえ、登録手続きをお願いします。

メディアセンター利用案内はコチラ

https://tna-library.opac.jp/opac/top

発行
公益社団法人
東京都看護協会

〒160-0023
東京都新宿区
西新宿4-2-19
https://www.tna.or.jp/
TEL.03-6300-0730(代)

発行人
柳橋礼子

編集協力
株式会社 物語社

令和8年(2026年)
9月30日発行